

業務に直結する発表、3題

第47回愛知県柔道整復学会
第78回会員研修会



発表者(左から)
横井会員・宮阪会員・林会員

7月1日(日)午前10時から12時35分まで、愛整会館3階にて第47回愛知県柔道整復学会・第78回会員研修会が開催された。悪天候にもかかわらず勤務柔道整復師3名を含む240名が出席した。

学会開会にあたり佐久間学会長は、「公益社団の目的で上位に位置づけている学術は、県民や地域の人たちのための健康・福祉の増進に寄与します。公益のためさらなる学術研修の気持ちを高めて頂きたい」と挨拶。その後3名の会員が研究発表を行なった。

1. 自らが経験した鎖骨骨幹部骨折に対する臥位整復法の応用

横井達典会員 (大曾根)

自身が受傷し保存療法を選択した鎖骨骨折について、臥位整復法を応用し安静臥床を独自に工夫することで、難渋する整復位の保持に対してしっかりした固定・管理が可能になったと報告。

2. 学童期における踵部痛に対する一施術方法

宮阪智也会員 (豊橋)

踵骨に連なる下肢筋の連結性に着目し、それらの筋が弛緩する肢位で早期から実施し、極めて短期間で改善させることができた手技療法の有用性を紹介。

3. 徒手整復が可能であった示指ロッキングの一考察

林厚宏会員 (熱田)

MP関節を屈曲し、橈側への変位・回外位を加えながら伸展する方法では整復できなかった示指MP関節のロッキングに対して、解剖学的構造を考慮して、屈筋腱を橈側へずらすような圧迫を加えることで解除できた徒手整復法を詳述。

今回は、米田 實先生が都合により欠席され講評を頂けず残念であったが、発表者が使用材料を会場に回したり実技を披露したりと、例年とは趣きが異なり日々の業務に直結する刺激的で充実した学会となった。

大腿骨頸部骨折でも歩行可能な場合がある

会員研修会は、河邊清晴先生(米田病院関節外科長)に「股関節疾患について」と題してご講演を頂いた。単純XP・CT・MRIなどの画像診断を駆使して下記疾患に関する多くの症例と手術術式や感染症・肺塞栓症などの合併症を含めて詳述された。

- ①大腿骨近位部骨折
- ②変形性股関節症
- ③特発性大腿骨頭壊死
- ④単純性股関節炎



観血療法術後の管理や経年管理のリスク、将来にわたって感染症や人工骨頭などの管理などの重要性を紹介し、とくに腰痛や膝痛を訴えていても股関節疾患がある場合や、大腿骨頸部骨折でも歩行が可能なので見逃さないようにしなければならないと強調された。

◆第9回柔整師杯東海少年柔道選手権大会
第31回日整東海ブロック会柔道大会
平成24年8月19日(日) 10:30~、13:00~ 三重県営サンアリーナ

◆第23回機能訓練実務研修会(第6回フォローアップ講習会)
平成24年8月26日(日) 10:00~11:30 愛整会館
講師 柴田泰志先生(理学療法士)
演題 「二次予防対象者と向き合う機能訓練と指導方法」

開催
予告

氏名	生年月日	支部	出身校	段位	趣味
赤尾 健司	S58.4.6	中村	米田柔整	—	ギター
服部 益巳	S46.1.31	中村	中和医療	初段	読書
有賀 高志	S53.5.4	大曾根	米田柔整	1級	ゴルフ
伊藤 智章	S53.10.6	豊橋	浜松医療	初段	旅行

石田健太郎 総務部長、「帰一賞」受賞

石田健太郎会員(総務部長)が、6月24日(日)の日整通常総会において、帰一賞を受賞した。

嘉納治五郎先生の雅号「帰一齋」と、「整骨新書」の著者で江戸時代の整骨医各務文獻先生の雅号「帰一堂」の双方に因んで命名されたこの賞は、柔道整復師業界の発展に著しく寄与した会員に贈られる日整最高栄誉の賞である。

本会では過去に、森 昭治・後藤 武・浅井正孝・水谷七郎の4会員が受賞しており、石田会員で5人目となった。

石田健太郎会員(総務部長)が、6月24日(日)の日整通常総会において、帰一賞を受賞した。



アイアンマン、今年も全カサポート

6月24日(日)、「アイアンマン 70.3 セントレア常滑ジャパン」が開催され、今年も小林事業部長や愛柔整トレーナーズ協会会員4名、支部会員ら合わせて47名が選手の救護・ケアにあたった。

今年で3回目となるこの活動は、5月上旬から定期的に打合せを行ない、簡易ベッドの準備や役割分担を確認してきた。6月16日には常滑市役所に20余名が集まり、ストレッチなどの実務研修も行ない、この模様が中日新聞知多版に大きく掲載された。

午前7時30分、1,600名の鉄人たちが一斉にスタート(本会から3名の会員も参加した)。会員はメイン会場のフィニッシュ地点「りんくう海浜緑地北広場」に設営されたテントにブルーシートとベッド20台を設置してゴールする選手をサポートした。

来訪者は年々増え、下腿部挫傷へのテーピングをしたり、日赤医療班からの依頼で筋痙攣により動けない選手の応急処置に急行したりと、今年は約390名にケアを施した。

オリンピック出場・中井貴裕選手激励会

大石 康会員(半田)の道場から、3人目の五輪代表選手が誕生した。開幕が迫るロンドン五輪(7月27日~8月12日)の柔道男子81キロ級に出場する、中井貴裕選手(大石道場出身・流通経済大学)の激励会が、7月7日(土)の午後6時より大府市勤労文化会館・くちなしホールで盛大に開催された。

発起人の一人である佐久間会長とともに、柳田・森川両副会長と本会役員や半田支部会員、同道場OBら約250人の関係者が出席した。

先輩で五輪金メダリストの吉田秀彦氏や谷本歩実氏らも駆けつけた。

中井選手は「自分らしさを出して、先輩たちと同じようになれば」と恐縮して宣言し、会場から大きな拍手を浴びた。



(監事・内田光昭)